



広報2015-26 10月5日(月)クウェートでJCCP研修生OB,OGの集いが開催されました。

以下にプレスリリース記事を掲載しました。

JCCP:クウェートネットワーク会議を開催 「ペトロパートナーズクラブ」でクウェートとの更なる友好関係を強化

【平成27年10月5日クウェート市】JCCP(一般財団法人国際石油交流センター、Japan Cooperation Center, Petroleum: JCCP)は、クウェート石油公社(KPC)の協力を得て、クウェート国クウェート市のJWマリオット・ホテルにて、JCCPでの研修経験者を対象とした第1回JCCP-クウェートネットワーク会議を開催しました。

来賓としてKPCのニザー・アル・アドサニCEO(Mr. Nizar Al-Adsani)を中心に、KPCグループからクウェート石油精製公社(KNPC)のモハマッド・アル・ムタイリCEO¹(Mohammad Ghazi Al-Mutairi)、クウェート石油開発公社のハシエム・ハシエムCEO(Mr. Hashem Sayed Hashem)、クウェート科学研究所(Kuwait Institute for Scientific Research: KISR)からはナジ・アル・ムタイリ総裁(Naji Mohamed Al-Mutairi)、また、アラブ石油輸出国機構(Organization of the Arab Petroleum Exporting Countries: OAPEC、本部クウェート市)からは事務局長のアッバス・アル・ナキ閣下(Abbas A. Al-Naqi)が出席し、クウェートにおける石油業界のリーダーが一堂に会しました。日本からは、辻原俊博在クウェート日本国大使、経済産業省から大江健太郎資源エネルギー庁資源・燃料部石油精製備蓄課課長補佐(統括)が出席しました。

¹ 1987年、2004年JCCP研修生

今回のイベントには総勢201名(内、JCCPでの研修経験を持つ170名)のクウェート側関係者が出席しました。JCCPでは過去にサウジアラビア(2014年3月、サウジアラビア)、UAE(2012年11月及び2015年1月、アラブ首長国連邦)において計3回のJCCP事業参加者によるネットワーク会議を開催し、クウェートでの開催は今回が初めてです。

JCCPは過去33年に渡り累計620名(平成27年3月現在)、2014年度には73名のクウェート石油公社グループの社員を対象に、クウェート及び日本において人材開発、製油所運営、環境・省エネの分野を中心とした人材開発プログラムを実施して参りました。現在ではクウェート石油公社グループの幹部となって活躍している研修経験者も多数おり、我が国とのエネルギー安定供給において重要な役割を果たしています。また、JCCPは日本からクウェートへ累計182名の日本人専門家を派遣し、2001年から35件の技術協力事業の実施を通じて、クウェートの石油精製分野における技術発展に貢献しています。

JCCPの代表執行理事である中井毅は、開催にあたり次のように述べています。

「1981年のJCCP設立以降、クウェートとは長期にわたる活動の歴史を持っています。クウェート石油省、KPCをはじめ、クウェート側関係者からのJCCP活動に対するこれまでの惜しみないご協力に感謝しますと共に、JCCP事業を通じて石油分野における両国関係を今後さらに新しい次元に向けて発展させていきたいと思っています。今後とも引き続きご支援をお願い致します。」

クウェート石油公社CEO のアル・アドサニは、次のように述べています。

「日本はクウェートの石油業界発展の歴史において伝説的な存在です。人材開発・技術移転の推進を通じて多大な貢献をして頂いていることに感謝するとともに、日本人の責任感の高さについても感銘を受けています。JCCP とは戦略的パートナーとして、今後も新しい価値を生み出し続けることで、友好的な協力関係の発展に期待します。」

在クウェート日本国大使館の辻原俊博大使は、次のように述べています。

「両国が築いてきた友好関係、特にその質に関して忘れてはならないことがあります。2011 年は1961年に日本がクウェート産原油を初めて輸入開始してからちょうど50 周年でしたが、東日本大震災による甚大な災害が発生しました。クウェートから援助として5 百万バーレルの原油の寄付を受けました。本日のイベントで、将来に向けたひとつの新たなコミュニティが形成されたように思います。」

なお、このイベントに先立ち中井代表執行理事はアリ・サレー・アル・オメール石油大臣 (H.E. Dr. AliSaleh Al Omair) に対して表敬訪問を行い、石油大臣は、JCCP のこれまでの協力に対して謝辞を述べました。面談では、目下のエネルギー情勢など激変する環境変化への対応力を備えるために、弛まぬ人材開発と技術協力が必要であり、今後もJCCP の協力に対する期待が述べられました。

JCCP は、これまで長期にわたって培ってきたクウェートでのJCCP 研修経験者を中心とした人的ネットワークを「ペトロパートナーズクラブ」として更に発展させることで、クウェートと日本の「絆」をさらに強化し、日本のエネルギー安全保障に貢献して参ります。

【JCCP(一般財団法人国際石油交流センター)について】

JCCP は、数度にわたる我が国の石油危機の経験を踏まえ、経済産業省(当時通商産業省)の支援を得て1981年に設立されました。以来、34年間にわたり、産油国の石油精製分野の人材を対象に、石油精製技術や製油所の安全かつ効率的な運営、環境保全、事業運営・戦略的経営スキルの育成を行うとともに、技術協力案件の共同事業を通じて産油国のニーズに応えることで友好関係を発展させ、産油国の発展に貢献しつつ我が国への石油の安定供給確保に貢献することを目的としています。設立以来、累計23,016名の研修生を受け入れた一方、累計5,336名の日本人専門家を派遣しています(2015年3月末時点)。